様式２

学校名（　宍粟市立一宮北小学校　）

| | |
|---|---|
| 実施日：２月１日（２校時） | |
| 領　域：総合的な学習の時間 | |
| 取組名：みんなのあんしんプロジェクト　～誰もが安心して過ごせる学校やまちをつくろう～ | |
| 対　象：５年生 | 実施場所：教室 |

ア　ねらい
- 身の回りの人権課題を見抜き、課題を解決する方法を考え、整理した情報を表現する力を身に付けさせる。
- 障がいのある人や、性で悩んでいる人の思いについて学び、誰もが安心して過ごす人づくりや町づくりのためのアイデアを発信する活動を通して、必要な資質・能力を身に付けさせる。

イ　指導内容（指導略案）や取組の概要
- 事前アンケートで「男性同士の結婚式の写真を見てどう思うか」について聞いておく。
- アンケート結果を基に、自分たちの意識について話し合う。
- ゲストティーチャーから「４つの性」について話を聞き、性で悩んでいる人がいることを知る。
- 性について、どのような悩みがあるかを考え、話し合う。
- 性に悩む人たちがどうしたら生きやすくなるかを考える。

ウ　連携先：　家庭、地域、一宮北中学校、Like myself、宍粟市一宮保健福祉課

エ　連携にむけての取組
- 家庭や地域へは、授業の内容や児童の発言を学級通信等で知らせた。
- 一宮北中学校の職員に授業を公開し、小学校での指導内容を紹介することができた。
- Like myself の方と授業の内容について検討した。授業当日、ゲストティーチャーとして招き、「４つの性」について話をしていただき、児童の理解を深めた。

オ　組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点
- 学習で学んだ内容や子どもたちの意見などをまとめ、誰でも見ることができるように廊下に掲示している。
- 各教科・各領域を通して、伝え合う活動を取り入れた授業実践を行うことを小中全職員で意思統一している。ペア学習やグループ活動を活用し、相手の考えや意見を受け止めてから自分の考えを伝えるように指導している。相手意識をもたせた上で、伝えたいことをまとめさせ、コミュニケーション能力を育んでいる。

カ　評価の方法
- 授業中の発言　　・　ワークシート、感想

キ　成果

「周囲がいろいろな生き方を認める」「差別をしたり、悪口を言ったりしない」など、生きやすくなるには周りの人の努力が必要だという意見が多く出た。また、「だれでも使えるトイレを積極的に使っていきたい」と、今すぐに取り組めることに気づき、行動していこうとする意欲を高められたことが成果である。

ク　課題

誰もが過ごしやすい社会は、多様性を受け入れて認め合おうとする人々の心がつくっていくものである。そのことを、この授業だけではなく日々の授業や生活の中で意識できるように、指導者側も人権感覚を磨いていきたい。

また、子どもたちが単元での学びを日常生活にいかし、誰もが安心して生活できる社会づくりに取り組めるようになるために、学んだことを外部に向けての発信することができるようにすることが課題である。